

佐渡國しま海道

■地域のねらい

佐渡の道・景観に関する情報の収集と発信、佐渡の道・景観に関する調査研究、佐渡の道・景観を活用した実験的事業、佐渡の道・景観の具体的な改善事業などを通し、会員相互の交流と地域活性化を目指す。

■活動エリアと地域資源

- 佐渡島内の国道350号、主要地方道佐渡一周線(45号)などを中心とする地域で、外海府の海岸線をテーマとしたエリア、相川・沢根「鉢山」をテーマとしたエリア、古代・北陸道(世阿弥が歩いた道)ルート、新穂银山跡散歩道ルート、トキ街道～海みち・山みち・里みち～ルートをメインに活動を展開している。
- 景観(棚田、田畑)、自然、歴史(旧街道、社寺仏閣(清水寺、長谷寺など))をはじめ、自然、歴史、文化など豊かな景色と資源が豊富。
- これらの資源を活かした道や沿道の町並みを利用したイベント等が開催されている。

■地域の活動推進体制

NPO法人トキどき応援団、NPO法人循環の島研究室、新穂银山を歩く会、萬都佐木(まつさき)グループ、NPO法人佐渡文化財研究所、NPO法人しまみらい振興機構、(財)鼓童文化財団、(社)佐渡版画村、ふるさと再発見委員会、NPO法人佐渡総合プロデュース機構、effectect design office、佐渡ジオパークガイド協会、個人会員 10名、佐渡市役所



休耕田に咲くヒマワリ



清水寺



古道:古代北陸道



風島と弥彦



景観勉強会

佐渡の道・景観を考えるための勉強会



長谷寺



朱鷺のえさ場



佐渡・美しい道プロジェクト

「好きな道、気になる道、その道をどうすればもっと美しく魅力ある道になるか」について提案募集し選考委員会にてルートを選定